

# 赤潮情報第63号

## (八代海：カレニア ミキモトイ、シャットネラ属、コクロディニウム警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部  
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

**カレニア ミキモトイが八代海で最大150細胞。減少傾向ですが、引き続き警戒が必要です。**

本日、熊本県と天草市が八代海を調査したところ、カレニア ミキモトイが海水1mL当たり**最大150細胞** 確認されました。カレニアの細胞数は減少傾向ですが、今後の海況によっては再び増殖するおそれがあるため、引き続き警戒が必要です。

シャットネラ属は、八代海北部で**最大98細胞**確認されました。今後の海況によっては増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

コクロディニウムは、確認されませんでした。

カレニア ミキモトイやシャットネラ属は有害で、魚類や貝類などをへい死させる恐れがあります。周辺海域で養殖・蓄養をされている場合は、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意のうえ、必要に応じて餌止め等の対策を行ってください。

※数字は左から順にカレニア ミキモトイの水深0m, 2m, 5m, 10m層の海水1mL当たりの細胞数です。  
( )の数字はシャットネラ属。[ ]の数字はコクロディニウム。【採水時刻】。

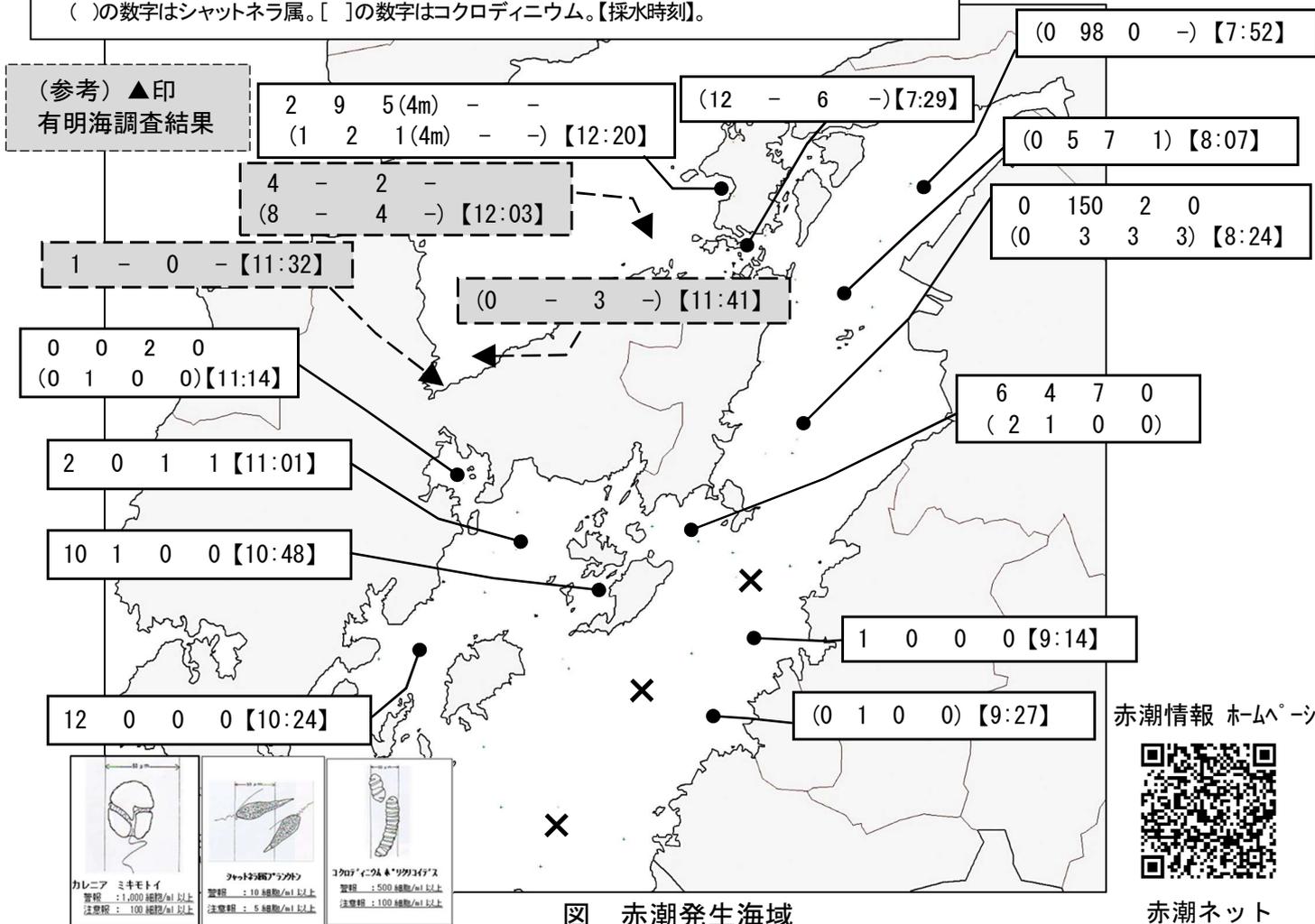


図 赤潮発生海域

※×印：全ての採水層でカレニア ミキモトイ、シャットネラ属、コクロディニウムが0細胞

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください  
(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット [https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku\\_id=1&sid=1](https://akashiwo.jp/public/kaikuInit.php?qkaiku_id=1&sid=1)